

科目名	デザイン実習2 [クラフト] (卒業必修)		
授業形態	実習	学年	2
開講時期	2023年度 前期	単位数	2
担当教員	井波 純		
内容および計画	<p>デザイン実習Iで学んだ乾漆技法、漆芸装飾技法について更に完成度を高めるとともに、表現の可能性を更に広げることを目的とする。また、社会のニーズに対応し生活の中で生きる漆のデザインの考察もあわせて行う。</p> <p>実習前半では、各自テーマを定めて造形表現作品の制作を通し、表現に適した素材の選択、加工方法、漆塗りや加飾表現に関する技法について学ぶ。後半は多岐にわたる加飾技法から蒔絵装飾を中心により高度な技法に対する理解を深める内容とする。</p>		
1	造形作品の制作 デザイン・技法の検討		
2	造形作品の制作 デザインの決定、 素地制作についての検討		
3	造形作品の制作 素地の制作		
4	造形作品の制作 素地・布着せ・漆下地の制作		
5	造形作品の制作 漆下地、漆塗り工程、加飾装飾等それぞれの表現に応じた対応として指導する		
6	造形作品の制作 漆下地、漆塗り工程、加飾装飾等それぞれの表現に応じた対応として指導する		
7	造形作品の制作 漆下地、漆塗り工程、加飾装飾等それぞれの表現に応じた対応として指導する		
8	造形作品の制作 仕上げ作業等作品完成に向けた技法指導を行う		
9	造形作品の制作 作品完成・講評等		
10	漆芸装飾技法 (応用) 蒔絵装飾について、 平蒔絵、平研ぎ出し蒔絵等 加飾技法についての理解と技法指導		
11	漆芸装飾技法 (応用) 蒔絵装飾について、 平蒔絵、平研ぎ出し蒔絵等 加飾技法についての理解と技法指導		
12	漆芸装飾技法 (応用) 蒔絵装飾について、 平蒔絵、平研ぎ出し蒔絵等 加飾技法についての理解と技法指導		
13	漆芸装飾技法 (応用) 蒔絵装飾について、 平蒔絵、平研ぎ出し蒔絵等 加飾技法についての理解と技法指導		
14	漆芸装飾技法 (応用)		

	蒔絵装飾について、 平蒔絵、平研ぎ出し蒔絵等 加飾技法についての理解と技法指導
15	漆芸装飾技法（応用） 蒔絵装飾について、 平蒔絵、平研ぎ出し蒔絵等 加飾技法についての理解と技法指導 完成作品について講評

教科書

タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年

使用しない

参考書	使用しない
------------	-------

成績評価

評価方法	割合(%)
出席状況と受講姿勢	20
授業内容の理解と実習作業に対する積極性	40
課題作品	40

木工機器や刃物の取り扱いを知ることで制作の範囲も広がりますが、同時に怪我の危険も伴います。説明をしっかりと理解し安全第一で作業しましょう。大型電動木工機器については教員が取り扱います。

学習到達目標	自身のテーマ設定から、造形作品の制作を通して漆芸技法についてさらに幅広く知ることができる。また、手仕事でのものづくりやデザインに関する計画性と完成度の関連性、重要性を体得できる。
先修条件	
実務経験	実務経験あり：素地制作から漆塗り、漆芸装飾に至るまで石川県輪島市、および東京都において実務経験を積み、作品制作を中心に活動してきた経歴も活かしながら、シラバスに沿った授業において理解を深めより完成度の高い課題作品の制作につなげていく。
その他	